

○ 市民と市長との意見交換会の内容要旨

令和元年7月29日 市民交流プラザIKODE瓦町

テーマ1 地域共生社会の実現に向けて

No	御意見等	回答
1	<p>高松のまちを見ると、歩きたばこをしている人や、速度を上げて走る自転車をよく見かける。</p> <p>そのような状況は、子どもにとっていいとは思えないし、地域共生社会実現に向けて、誰もが一緒に暮らしていけるまちをつくらない中、見過ごせないものがある。</p> <p>また、まちにバリアがあるがゆえに、外出を控えていた人たちが気軽に外に出てきてもらえるよう、ユニバーサルデザインのまちづくりを進めてもらいたい。</p> <p>他人を気遣う、放っておかないという風にならないといけないし、多様な人がいることに気がつくようにして、みんなと一緒に生きていけるようなまちになってもらいたい。</p>	<p>高松市では、かなり以前から歩きたばこの禁止を進めてきている。</p> <p>自転車の危険運転についても、よくご意見を頂くが、例えば、丸亀町商店街では自転車の通行を禁止するなどの取組を行っている。</p> <p>このようなマナーに関わる対策については、啓発等しっかりとやっていきたい。</p> <p>また、本市では単に形式的・物質的なものだけでなく、相手の立場に立ち、思いやり、助け合うといった心のユニバーサルデザインが重要であるとし、みんなが広く多様性を認め合うような社会を築きあげようと取り組んでいる。</p> <p>このことは、国連で採択されたSDGsの「誰一人取り残さない」という考えにも合致するものであり、これまで以上に力を入れてまいりたい。</p>
2	<p>地域共生社会を作り上げていくためには、市民の積極的な参画が重要であるが、投票率の低さを見ても、それは望めないと思われる。</p> <p>投票率の低さについてどう考えるか。</p>	<p>全国的に見ても、投票率は低い状況が続いており、市民の皆さんが関心をもう少し持つべきだと考えるので、選挙啓発に力を入れていく必要があるとともに、行政側も説明責任を果たして透明性を高めて、市民の皆さんから信用を失わないよう取り組む必要がある。</p>

No	御意見等	回答
3	<p>若い世代、特に10代、20代の自殺防止について、高松市として、どう防止対策を講じるのか。</p>	<p>若い人たちの自殺問題は非常に大きな問題であり、周囲の人や何らかの関係者が早期に気づいて、相談機関とうまく結びつける対応が必要である。</p> <p>それはまさに地域共生社会のシステムの中で構築するものであり、悩んでいる人が自ら相談に来ない場合もあるので、例えば、まるごと福祉相談員が出向いて、うまく相談に乗ってあげるようなアウトリーチの対応に力を入れていきたい。</p>
4	<p>今、社会そのものが個人主義、独善主義の傾向が強くなっており、この状況で地域共生社会を実現することは難しいのではないか。</p>	<p>ご指摘のとおり、社会を構成する個々人の考え方をはじめ、地域社会の在り方自体が相当変わってきている。</p> <p>今までと同じ枠組みで地域共生社会やコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを進めようとするのではなく、新しい形を模索しなければならない。</p> <p>高松市の場合、その基本となるのは、市内44ある地域コミュニティ協議会であると考えている。</p> <p>地域コミュニティ協議会を単位として、その地域の人全てを構成員とし、それぞれが役割分担をして、できる範囲でお互い協力していく、このような組織ができないかということで、今、コミュニティの再生をテーマに模索している。</p> <p>このコミュニティの再生を図りながら新しい形での共生社会を目標として取り組もうとしているので、また、色々と御意見を頂きたい。</p>

テーマ2 コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを目指して

No	御意見等	回答
1	<p>体力面等から農地を手放したいと思ったが、自らの土地が農業振興地域内にあり、市に相談しても、転売することができないといわれた。自分の土地が自由にならないということに合点がいかないし、このままでは不本意ながら耕作放棄になってしまい、困っている。</p>	<p>都市という形態上、そこに住む人々が一緒に暮らしていく上で、都市化する部分とそうではない部分と、ある程度規制していく必要があると考えている。</p> <p>長期にわたり総合的に農業振興を図る地域として指定されているエリアが農業振興地域であるので、そのエリアについては農地を保全していくという考えでまちづくりを進めてまいりたいと考えている。</p> <p>また、担い手不足の状況は認識しており、農業に関わる人を増やすため、市として様々な支援策をとっていきたい。</p> <p>以上、全体としての基本的な考え方を述べたが、皆さまそれぞれの事情があることは理解しており、できる限りきめ細かな対応を取りたいとも考えているので、関係課に御相談いただきたい。</p>
2	<p>公共交通機関の利用促進について高松市のスタンスを聞きたい。</p>	<p>現在、公共交通利用促進施策の一つとして、「電車・バス乗り継ぎ割引拡大制度」を実施しているが、高松市は、あくまで公共交通機関の利便性を高めるために行っている。</p>

No	御意見等	回答
3	<p>J R 四国の路線維持問題についてどう考えているか。</p>	<p>JR四国の路線について、予讃線の一部以外は全て赤字路線である。</p> <p>路線維持をいかに図っていくかということは、四国全体で、地域とJRが共に考えていかねばならない問題である。</p> <p>ようやく、地域と議論ができるような状況になったので、それぞれの地域でよりよい方向性というのを議論しながら、全体としてJRのネットワークをどうしていくのか、考えていかねばならないと思っており、高松市としても、しっかりと意見を挙げていく。</p>
4	<p>国の資料等を見ると、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりとスマートシティの取組を関連付けているようだが、高松市の状況、特に高松市のスマートシティ協議会との連携等について教えてほしい。</p>	<p>I C T ・データの活用と多様な主体との連携により、様々な地域課題を解決し、持続的に成長し続ける「スマートシティたかまつ」の実現のため、産学民官の多様な主体が参画する「スマートシティたかまつ推進協議会」を設立した。</p> <p>そして、I o T 共通プラットフォーム（F I W A R E）を活用し、今後、交通関係をはじめとした様々なデータを利活用し、公共交通の利用促進を図るためのよりの確な交通ネットワークの在り方やバス路線の在り方など、協議会のワーキンググループで検討し、その結果を基に施策を進めていくことを考えている。</p>

テーマ1、テーマ2以外で

No	御意見等	回答
1	<p>今後、子どもたちが遊ぶことができる場所は増えるのか。</p>	<p>高松市中止部辺りとなると、遊ぶ場所が少ないという声をよく聞く。</p> <p>その拠点施設という位置づけでたかまつミライエをつくったので、活用していただきたい。</p> <p>これからも、できる限り子供たちが安心して遊ぶことができる公園や施設などを充実させてまいりたい。</p>
2	<p>まちづくり全般、ハード・ソフト両面において、官民連携という観点で、どのような形での取組を進める予定か。</p>	<p>今、行政だけでできるサービスはほとんどなく、本市においても、既に様々な分野・形で多様な主体との連携を行っている。</p> <p>例えば、福祉分野においても、行政だけでなく様々な主体が、それぞれ役割分担をして、お互い助け合う時代になっており、そうすることでより充実した行政サービスを展開することができている。</p> <p>今後も、あらゆる分野で多様な主体との連携を意識しながら、各種施策を進めてまいりたい。</p>

No	御意見等	回答
3	<p>たかまつミライエは立地もよく、施設としても充実しており、よく利用しているが、利用者目線に欠けているところがあり、若干残念である。</p> <p>① 3階子育て支援ゾーンの子どものプレイルームは非常に人気があり、並ばないと利用できず、整理券配布するなどしてほしい。</p> <p>② イベントの多くの開始時間が同じで、第一希望のイベントが定員に達して参加できなかった場合、ほかのイベントに参加することができない。</p> <p>③ 施設の職員は、施設管理だけに気を配っていて、子どもに対する配慮に欠けた態度をとることがあり、残念である。</p>	<p>たかまつミライエについては、本当に多くの方に御利用いただき、評価も高いところであるが、予想よりも多くの方に利用いただいているため、混雑等でご迷惑をおかけしている。</p> <p>今回貴重な御意見を頂いたので、何らかの改善ができるよう、現場に伝え検討してまいりたい。</p> <p>【その後の対応】</p> <p>これまで整理券の発行や受付名簿の記入など、受付方法を施行してきたが、順番が来たときに不在であったりした結果トラブルになるなどのため、最終的に並んで待つという現状に至っている。待機スペースに貸出用絵本を用意するなどお子さんが退屈しないよう取り組んでいるが、今後とも検討してまいりたい。</p> <p>イベント開始時間については、過去にも同様な意見を頂いており、令和元年度から各開始時間が重ならないように改善したところである。</p> <p>施設職員が、お互いさまの雰囲気醸成するため、おもちゃの譲り合い、後片付けについて、利用の妨げにならない範囲で声掛けするなどの対応を行っているが、今回の御意見を真摯に受け止め、利用者目線で対応するよう職員への指導を行った。</p>

No	御意見等	回答
4	<p>地域で困っている人を、行政や関係機関とつなげるかが重要であり、どれくらいの人がいるか把握するため、市役所に協力を求めても、個人情報の取り扱いが壁になって、中々うまくいかない。</p> <p>もう少し職員の意識を変えることはできないか。</p>	<p>地域内での支援を考える中で、地域で困っている人の情報を各コミュニティと共有することは非常に重要である。</p> <p>個人情報の問題について、できる限り情報共有できるよう、市としてもう少し検討して解決につなげていきたい。</p>
5	<p>地域の高齢者移動支援について、地域住民が病院の送迎や買い物支援をしたいと考えており、市役所からの後押しも必要と考えているが、どのように考えているか。</p>	<p>いわゆる福祉運送といった問題については、運輸局ともよく調整しなければならない。また、地域ごとで状況も変わってくるだろうから、今後各地域に合ったきめ細やかな解決方法を模索していきたい。</p>